

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2008-242330(P2008-242330A)

【公開日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2008-040

【出願番号】特願2007-86119(P2007-86119)

【国際特許分類】

G 09 G	3/36	(2006.01)
H 04 N	9/30	(2006.01)
H 04 N	9/68	(2006.01)
G 09 G	3/34	(2006.01)
G 09 G	3/20	(2006.01)

【F I】

G 09 G	3/36	
H 04 N	9/30	
H 04 N	9/68	Z
G 09 G	3/34	J
G 09 G	3/20	6 3 2 G
G 09 G	3/20	6 4 2 J

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月1日(2009.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

Y C b C r 規格による映像信号を受け、Y 輝度信号、C b 色差信号、C r 色差信号に関する各ヒストグラムを生成する生成部と、

前記生成部が生成したヒストグラムから特定の分布をもつヒストグラムを検出するフィルタ部と、

前記フィルタ部からの検出結果に応じて制御信号を生成して出力する制御部と、  
を具備するバックライト制御装置。

【請求項2】

前記生成部は、前記映像信号の一画面について一つのヒストグラムを生成することを特徴とする請求項1に記載のバックライト制御装置。

【請求項3】

前記フィルタ部は、最大階調に所定量以上の頻度のあるヒストグラムを検出することを特徴とする請求項1に記載のバックライト制御装置。

【請求項4】

前記フィルタ部は、最小階調に所定量以上の頻度のあるヒストグラムを検出することを特徴とする請求項1に記載のバックライト制御装置。

【請求項5】

前記フィルタ部は、最高彩度に所定量以上の頻度のあるヒストグラムを検出することを特徴とする請求項1記載のバックライト制御装置。

【請求項6】

前記 Y C b C r 規格による映像信号を受けて画像表示のための駆動信号を出力する処理部と、

前記処理部から前記駆動信号を受けこれに応じた映像を画面表示する表示部と、

前記制御部から前記制御信号を受けこれに応じて前記表示部の背後からバックライトを照射するバックライト部を更に有する請求項 1 記載のバックライト制御装置。

【請求項 7】

Y C b C r 規格による映像信号を受け、Y 輝度信号、C b 色差信号、C r 色差信号に関する各ヒストグラムを生成し、

前記生成したヒストグラムから特定の分布をもつヒストグラムを検出し、

前記検出結果に応じて制御信号を生成することを特徴とするバックライト制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

課題を解決するための一実施形態は、

Y C b C r 規格による映像信号を受け、Y 輝度信号、C b 色差信号、C r 色差信号に関する各ヒストグラムを生成する生成部（2）と、

前記生成部が生成したヒストグラムから特定の分布（図 2，図 3）をもつヒストグラムを検出するフィルタ部（3，4）と、

前記フィルタ部からの検出結果に応じて制御信号を生成して出力する制御部（5，6）と、を具備するバックライト制御装置である。